

10月

- 3日 広報委員会打合せ
- 4日 広報委員会
- 7日 阪急タクシー労働組合定期大会 中村信彦元市議陶芸展示会
- 8・9日 輪島市能登へ支援ボランティア
- 11日 議会運営委員会
- 12日 市立認定子ども園水尾幼稚園秋季運動会 おにクル伊藤豊雄講演会
- 13日 黒井の清水大茶会 茨木神社 連合大阪政治フォーラム
- 16・17日 市民会館跡地対策特別委員会視察 藤沢市、豊島区
- 18日 早稲田摂陵高校と議会意見交換会
- 19日 葦原地区の歴史を語る会
- 20日 葦原小学校運動会 新和町シルバーパワー会議
- 23日 阪急観光バス(株)定期大会
- 24・25日 会派視察 各務原市 いなべ市
- 26日 安満遺跡公園 フラダンスイベント出演 いばきたフェスティバル
- 27日 葦原地区運動会
- 28日 茨木産有機栽培米お披露目会
- 29・30日 議会運営委員会視察 下関市、小倉市
- 31日 阪急電鉄労働組合定期大会

11月

- 1日 教職員組合学習会
- 3日 おにクル 大阪フィルハーモニー交響楽団鑑賞
- 4日 若園バラ園ライトアップイベント フラダンス教室出演おにクル 絵本作家「谷口智則さん」イベント
- 7日 青パト乗車
- 9日 南中フェスタ
- 10日 つながるマーケット沢良宜 モラロジー清掃
- 13日 都市計画審議会 議会運営委員会 オレンジかふえお茶処ひなた
- 14日 葦原小学校自主防災会防災訓練 ローズワム国際交流
- 15日 連合大阪北大阪地域協議会
- 16日 葦原小学校グランドゴルフ大会 教育委員会「やってみよう運動会」
- 18日 広報委員会 会派会議 総合交通戦略
- 19日 議員研修(堺)
- 20日 玉櫛子ども食堂
- 21日 交通環境を良くする行動
- 22日 吹田市教育支援教室視察
- 23日 玉島ふるさと祭り 農業祭
- 24日 衆議院議員尾辻かな子国政報告会
- 25日 議案説明会 中核市の調査結果学習会 市長意見交換会 市街地整備対策全議員学習会
- 26日 退職教職員の会 子ども食堂理事会
- 26日 高瀬川老人会バスツアー
- 27日 議会運営委員会 連合大阪市長要請行動
- 29日 青健協スポーツフェスタ モラロジー感謝の集い
- 30日 田中今子さん展示会 藍野大学20周年記念式典

12月

- 7日 春日寄席 りょうば・南歩の二人の会
- 11日 文教常任委員会質問
- 13日 連合北摂地区委員会懇親会
- 16日 議会運営委員会
- 18日 議会閉会 議員納会 玉櫛子ども食堂物資届け
- 19日 中学校給食センター竣工式
- 20日 高瀬川老人会忘年会
- 21日 衆議院議員尾辻かな子国政報告会

西本ちかこ
プロフィール

- 1969年2月生 西年 A型
森みどりさん、故田中そうじさんの志を継ぐため、2021年初当選1期目、日々奮闘中です!
- 議会、所属。
2021~2022年 総務常任委員会、2023年より文教常任委員会(2年間)
2024 広報委員会、議会運営委員会、市民会館跡地等整備対策特別委員会
土地開発公社理事 都市計画審議会
- 立憲民主党大阪府連、つながる本部おおさか委員長、ジェンダー平等委員会、
ハラスメント対策委員会等に所属
- 葦原地区の歴史を語る会

西本ちかこ連絡先

真砂1丁目28-3-201 TEL・FAX 072-658-6825 携帯090-6244-5205
https://nishimoto.cdp-osaka.jp ①chikako.rikken@gmail.com

発行者 西本ちかこ 発行日 2024年12月28日



視察のコーナー
南池袋公園



フラダンス教室出演



フラダンス教室出演



11/14 葦原小学校
自主防災会防災訓練



12/1 文教常任委員会質問

昨年11月の衆議院選挙ではお隣
高槻市の尾辻かな子さんを応援

立憲民主党獲得議席148議席(公示前98議席)党の
女性議員30人立憲が最多(女性議員比率は20.27%
公示前は15.3%)
国会議員の女性比率(衆参)19.0% 705名中134名
茨木市議会女性議員比率 32.1% 28人中9人



人 自然 生き物

に優しい共生と
安心・安全で
環境に優しく健康で
文化にあふれた
街づくりを茨木から

茨木市議会議員

西本ちかこ

POCO A POCO



令和7年
新年号

ありったけの情熱を茨木に! ポジティブ ポコアポコ 便り Vol.24



輝かしい年頭にあたり、皆さまのご健康とご多幸をお祈り致します。



昨年は、茨木市では文化子育て複合施設「おにクル」がオープンし、市内外から多くの方々が来訪され、連日沢山のイベントで賑わいました。また、北部の安威川ダムには日本一の吊り橋が今年春にオープン予定です。年間100万人の来訪者を見込んでいるとのことですが、渋滞対策も必要です。

昨年は、年明け早々に能登地震が起き、多くの犠牲者が出てしまいました。いまだに多くの被災者の方々が仮設住宅で過ごされています。昨年の10月8日に子ども食堂の仲間と2人で輪島市と能登町へ支援物資のお届けと炊き出しボランティアに行ってきた。倒壊した家屋の解体や片付けが進んでいないところへ、大雨による土砂崩れや橋の倒壊や川の氾濫が追い打ちをかけ、災害支援は進んでいませんでした。道路は隆起や陥没で、片側一車線になっている箇所や、凸凹が沢山あり一刻も早い国の支援が必要だと強く感じました。輪島市の仮設住宅や、能登町の避難所で、具沢山お味噌汁など、炊き出しをさせていただきました。自分の食事は持参していましたが、公民館の職員の方の配慮で、避

難所で一緒にテーブルを囲み、お話を聞きながら、食事をさせていただく機会をいただきました。地震後、田んぼは隆起して凸凹になったが、希望を持って雑草を刈り、復活したところに、これまで何十年生きてきて初めての大雨でその田んぼは流されてしまった、と話してくれた方がおられました。また、「仮設が建設されても同じ場所には戻りたくない。」「もう、怖い思いをしたくない」とのことでした。今は、集落のみなさん一緒に避難所で過ごされていますが、それぞれ、違う仮設住宅に移ることになるのでしょうか…。輪島市の仮設住宅は、大きな一つの町で掲示板があり、コミュニティバス、公共の路線バスが走っていました。本来なら観光地として多くの人で賑わうはずなのに町や海に人は出ていなくてひっそり静かでした。一日も早く活気がもどり平穏な日常が戻るように願わずにおられません。12月、能登復興支援の補正予算が可決されました。継続的支援が必要です。

葦原小学校でも4年生のこどもたちが、自主的に能登支援の募金を集めていました。



留守番電話に
メッセージを
お願いします。

皆さまのお暮らしの
お困りごと・ご相談
ご意見など
お気軽にお寄せください

議会報告

3月
議会質問

能登地震を受けて、避難所の運営について
本会議で質問

質問

能登地震を受けて、一時避難地や避難所の整備について、課題認識、更なる強化の予定は？戸建てや集合住宅等、地域ごとの特性に応じた避難所収容人数の想定は？

回答

一時避難地や避難所の整備について、今後の考え方については、現時点では、令和6年能登半島地震を受けて、一時避難地や避難所の防災機能の拡充など予定していない。地域ごとの特性に応じた避難所の収容人数の想定は行っていない。

質問

能登地震では、日頃、飲み水としては使っていない井戸水がとても役に立ち、煮沸してコーヒーフィルターを使用し、飲んだという話を聞いたが、本市の災害時協力井戸の登録はあるのか？

回答

現在、101件の災害時協力井戸の登録があり、災害時に井戸水を有効活用することで、生活水の確保の一助になると考えている。

西本の思い

避難所ごとのわかりやすい情報開示についても要望。
災害時協力井戸についても周知が必要。

1月から、無償の中学校全員給食が始まります。

彩都はなだ1丁目に1月から始まる中学校給食センター竣工式に参加しました。先輩議員、教育委員会の尽力で構想から8年。子どもたちや保護者の意見を聞くことから始まり、協議会を重ね、全員喫食、無料の中学校給食がいよいよ始まります。積み込む際の安全確認の様子や、職員やスタッフさんのバックルームも見学し、学校給食さながらの、配膳で試食させていただきました。優しい味で、とても美味しくいただきました。

9月
議会質問

成年後見制度を安心して
利用できる体制づくりを

質問

国の計画において、成年後見制度の運用にあたり、財産保全のみが重視され、本人の意思尊重の視点が不十分であったとの課題が指摘されている。権利擁護と意思決定支援について、市の認識と取組状況はどうか。また、成年後見制度に関する多様な相談について、今後どのように対応していくのか。

回答

認知症等により判断能力が十分でない方も、地域で自分らしく生活できるようにすることが大切であると認識しており、関係機関と連携し、相談者の意向に応じて適切に対応できるよう努めていく。

視察

藤沢市 鵜沼海浜公園スケートボード広場
豊島区 南池袋公園 都市公園法PPFI事業

各務原市 フレイル予防
いなべ市 アウトドアシティ事業

12月
文教常任
委員会質問

不登校の子ども居場所で、本市が直接開設する不登校児童生徒支援室「ふれあいルーム」について、公教育としての市の捉え方や不登校の子どもとの学校との連携について質問。学校教育確保法の改正により、不登校の子どもを学校へ戻すことが目的ではなく、不登校児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを支援するもので、学校を介さずに直接インターネットからも申込みことができ、オープンで利用しやすい体制がつけられている。

